

開演前

29 日 (日) 午後 4 時より 「歌舞伎のお話」

講師 犬丸治氏・・演劇評論家/歌舞伎学会運営委員
著書『天保十一年の忠臣蔵 鶴屋南北「盟三五大切」を読む』(雄山閣)
『市川海老蔵』(岩波現代文庫) 他

30 日 (月) 午前 10 時半より

台詞「勧進帳」おすめかぶき同好会

柴山一生 遠藤鉄郎 野村幸代

今から 620 年程前に書かれた、世阿弥 (ぜあみ) のお芝居を元に日本の独特な文化、〈組み合わせ〉の方法により新しい創造の舞台に致しました。歌舞伎や能を見たことのない子どもに、また、歌舞伎や能が大好きな大人にも楽しんで頂けるおすすめ歌舞伎公演を目指しました。

日本の古典芸能の世界に使うお道具 (楽器) は、三味線大太鼓、小鼓、笛など、自然の木や動物の皮で出来ています。かつて生きていたもの達と、優れた演奏家らにより、物語を深く豊かに伝えています。声は、お腹の底から出、息のつめを必要とします。音高や音程を体でとらえ、全身を使うことを伝えてきました。

能楽、14 世能楽高安流宗家高安勝久氏、狂言佐藤友彦氏の御出演、鳥羽屋三右衛門氏、仙波清彦氏、吉住小三友氏、松竹の水口一夫先生はじめ、誠に有難いご協力者、ご支援者に恵まれこの公演に向かうことができました。おすすめ歌舞伎の 31 年目を、子どもさんと一緒に創造の世界を繰り広げてみました。【歌舞伎と子ども】おすすめ歌舞伎公演に、是非、皆様のご来場をお待ち申し上げております。

原本 世阿弥

構成・脚本
脚色
照明
大道具

市川櫻香
水上 夕
杉本典隆
金井大道具株式会社

長唄「うつぼ猿」演出
黒御簾音楽附師

佐藤友彦
鳥羽屋三右衛門

画：泰山府君
協力

杉戸 清
村瀬和子 (詩人)

【主な出演者】

泰山府君

十四世能楽高安流宗家 高安勝久

奴
奴
手習子
少女
胡蝶
胡蝶

藤波俊人
藤波宙大
島内真奈
池田沙弥
松田樹沙
松田梨沙

「うつぼ猿」
大名
猿曳
太郎冠者

長唄吉住会
佐藤友彦
市川りき
柴川菜月

文売り
天女
・
桜の精

(西川那月)
佐々木理恵
柴川菜月
市川櫻香

長唄
三味線
吉住小三友
・
吉住小美すぎ
・
吉住小真莉
・
杵屋喜尚

後見

市川阿朱花

囃子

仙波清彦社中

附打

丹崎健一

十二代目
櫻香の会×市川團十郎先生



積恋雪閑扉

三代目
むすめ歌舞伎×市川ぼたんさん



島の千歳

外郎売



名古屋能楽堂

勧進帳



名古屋能楽堂

春興鏡獅子



名古屋能楽堂

芦屋道満大内鑑通し



御園座

京人形



明治村「呉服座」

チケットのお申し込み NPO むすめかぶき

お電話 052 (323) 4499 ・ 090-5639-3900

メール info@musumekabuki.com

郵便 〒460-0012 名古屋市中区千代田 3-10-3

■愛知県芸術劇場地下2階「プレイガイド」でもお取り扱いしております。 052 (972) 0430

■名古屋市中文化振興事業団チケットガイド 052 (249) 9387
(平日 9 時～5 時)

指定席 5,000 円・自由席 4,500 円

●子供／学生 2,500 円

(当日券にてお扱い致しております)

会場

愛知県芸術劇場小ホール

〒461-8525 名古屋市中区東桜 1-13-2

052 (971) 5511

宣伝物デザイン

kabuki コミュニケーションデザイン

お申し込み用紙 **FAX. 052 (323) 4575**

ご氏名：_____

ご住所：_____

TEL：_____

FAX：_____

指定席	29 日 5,000 円	×	枚＝	円
	30 日 5,000 円	×	枚＝	円
自由席	29 日 4,500 円	×	枚＝	円
	30 日 4,500 円	×	枚＝	円
合計			枚	円

2015 年 こちら むすめ歌舞伎公演

三月二十九日（日）

開演.. 午後 四時四十分

（開演五十分前開場）

三十日（月）

開演.. 午前 十一時十分

於、愛知県芸術劇場

小ホール

新 たいさんぶくん

特別出演 十四世能楽高安流宗家 高安勝久

狂言歌舞伎

うつば猿

長唄吉住会

狂言師 佐藤友彦

囃子 仙波清彦 社中



あらすじ / 桜の花が7日で散ってしまう、宿題をしない子供を監視する奴と宿題嫌いな手習娘が、桜の寿命を延ばそうと団結、しかし、桜は何者かの手で枝を折られ花も散ってしまう。さて、犯人は誰なのか？